



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月26日

上場会社名 株式会社正興電機製作所 上場取引所 東・福  
 コード番号 6653 URL <https://www.seiko-denki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 添田 英俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	5,801	△1.5	526	57.3	533	81.2	337	16.4
2020年12月期第1四半期	5,889	△22.7	334	△21.3	294	△30.6	289	2.4

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 733百万円(437.8%) 2020年12月期第1四半期 136百万円(578.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	27.86	—
2020年12月期第1四半期	23.98	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	24,847	10,698	43.1
2020年12月期	23,907	10,147	42.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 10,698百万円 2020年12月期 10,147百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	10.00	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	14.4	560	9.3	590	14.5	410	△8.7	33.86
通期	30,000	28.3	2,000	50.9	2,050	52.2	1,430	37.6	118.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年12月期1Q	12,603,595株	2020年12月期	12,603,595株
2021年12月期1Q	495,063株	2020年12月期	494,805株
2021年12月期1Q	12,108,647株	2020年12月期1Q	12,090,397株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に未だ終息の兆しを見せない中、緊急事態宣言の再発令が個人消費や経済活動に大きな影響を与えました。緊急事態宣言解除後に経済活動が再開され、製造業を中心に業績が改善し、設備投資も持ち直しの動きを見せております。しかしながら一方では、非製造業は厳しい状況が続いており、まん延防止等重点措置が発令されている地域もあることから、景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは当期創立100周年を迎え、中期経営計画（SEIKO IC2021）のもと、「事業の拡大」と「高収益体質への転換」の実現に向け、「グループ総合力発揮による社会イノベーション事業の展開」「海外事業の拡大」「生産性の向上」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内の公共分野向けは堅調に推移したものの、配電機器製品や国内の一般産業向け及び中国での販売が減少したこと等により、売上高は5,801百万円（前年同期比 1.5%減）となりました。

損益につきましては、国内の公共分野において利益率が改善したことや、新型コロナウイルス対策商材の販売が増加したこと等により営業利益は526百万円（前年同期比 57.3%増）、経常利益は533百万円（同 81.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円（同 16.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (電力部門)

OT（制御・運用技術）・IT（情報技術）を活用した情報制御システムや発電電向け製品は堅調に推移したものの、配電機器製品が低調となり、売上高は1,481百万円（前年同期比 14.7%減）となりましたが、利益率が改善したことにより、セグメント利益は186百万円（同 6.4%増）となりました。

## (環境エネルギー部門)

道路設備向け受配電システムが堅調に推移したことや、公共分野において利益率が改善したこと等により、売上高は2,974百万円（前年同期比 13.4%増）、セグメント利益は240百万円（同 199.7%増）となりました。

## (情報部門)

一般企業向けシステム開発が堅調に推移したものの、港湾分野やヘルスケア分野が伸び悩んだため、売上高は302百万円（前年同期比 0.2%減）となりましたが、セグメント利益は24百万円（同 45.3%増）となりました。

## (サービス部門)

一般産業向けの製品販売が減少したことにより、売上高は595百万円（前年同期比 17.4%減）となりましたが、新型コロナウイルス対策商材の販売が引き続き好調であったことにより、セグメント利益は79百万円（同 273.8%増）となりました。

## (その他)

オフィス向けの調光フィルムは堅調に推移したものの、制御機器関連や発電所向け工事案件が減少したこと等により、売上高は448百万円（前年同期比 11.8%減）、セグメント損失は5百万円（前年同期 セグメント利益40百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第1四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して286百万円減少の16,187百万円となりました。これは主に、仕掛品が175百万円減少したことやその他に含まれる前渡金が103百万円減少したことによるものであります。

## (固定資産)

当第1四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して1,225百万円増加の8,659百万円となりました。これは主に、有形固定資産が取得等により595百万円増加したことや投資有価証券が時価の上昇等により648百万円増加したことによるものであります。

## (流動負債)

当第1四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して136百万円増加の11,710百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が443百万円減少したことや未払法人税等が313百万円減少した一方で、短期借入金が1,099百万円増加したことによるものであります。

## (固定負債)

当第1四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して251百万円増加の2,438百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が258百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して550百万円増加の10,698百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の時価の上昇等により382百万円増加したことや、利益剰余金が剰余金の配当により181百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により337百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績と最近の動向を踏まえ、2021年12月期第2四半期(累計)連結業績予想を以下のように修正しております。

修正の理由としましては、電力部門や環境エネルギー部門の公共分野において利益率が改善しており、引き続き堅調に推移すると見込んでいるためであります。

## 1. 2021年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,200	520	550	380	31.38
今回修正予想 (B)	12,200	560	590	410	33.86
増減額 (B-A)	—	40	40	30	
増減率 (%)	—	7.7	7.3	7.9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年12月期第2 四半期)	10,661	512	515	449	37.14

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 通期業績予想について

2021年12月期通期業績予想につきましては、前回発表予想から変更はございません。

なお現時点で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が経営成績に与える影響を合理的に見積もることが困難であるため、今後合理的な予想が可能となり、開示が必要と判断された場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,894	1,803
受取手形及び売掛金	10,885	10,979
商品及び製品	656	646
仕掛品	2,333	2,158
原材料	335	389
その他	381	224
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	16,473	16,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,144	2,120
その他(純額)	1,993	2,612
有形固定資産合計	4,137	4,732
無形固定資産		
	141	135
投資その他の資産		
投資有価証券	3,038	3,687
その他	125	112
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	3,155	3,791
固定資産合計	7,434	8,659
資産合計	23,907	24,847
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,324	2,881
電子記録債務	1,701	1,713
短期借入金	3,190	4,289
未払法人税等	411	97
賞与引当金	—	444
工事損失引当金	8	14
その他	2,937	2,269
流動負債合計	11,573	11,710
固定負債		
退職給付に係る負債	1,900	1,897
その他	285	540
固定負債合計	2,186	2,438
負債合計	13,760	14,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,607	2,607
資本剰余金	1,942	1,942
利益剰余金	4,817	4,973
自己株式	△229	△230
株主資本合計	9,136	9,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,211	1,594
為替換算調整勘定	△103	△93
退職給付に係る調整累計額	△98	△95
その他の包括利益累計額合計	1,010	1,406
純資産合計	10,147	10,698
負債純資産合計	23,907	24,847

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	5,889	5,801
売上原価	4,840	4,565
売上総利益	1,048	1,236
販売費及び一般管理費	714	709
営業利益	334	526
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	6
受取賃貸料	2	3
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	7	7
営業外収益合計	14	17
営業外費用		
支払利息	7	6
投資有価証券評価損	40	—
その他	6	3
営業外費用合計	54	10
経常利益	294	533
税金等調整前四半期純利益	294	533
法人税、住民税及び事業税	32	94
法人税等調整額	△27	101
法人税等合計	4	196
四半期純利益	289	337
親会社株主に帰属する四半期純利益	289	337



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	289	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	382
為替換算調整勘定	△4	9
退職給付に係る調整額	5	3
その他の包括利益合計	△153	395
四半期包括利益	136	733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136	733

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,735	2,622	302	720	5,381	508	5,889	—	5,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	66	154	221	93	315	△315	—
計	1,736	2,622	369	874	5,602	602	6,204	△315	5,889
セグメント利益	175	80	16	21	294	40	334	—	334

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、電気工事、機械器具設置工事であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,481	2,974	302	595	5,352	448	5,801	—	5,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	83	241	335	15	350	△350	—
計	1,481	2,984	385	836	5,688	463	6,152	△350	5,801
セグメント利益又は 損失(△)	186	240	24	79	531	△5	526	—	526

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、電気工事、機械器具設置工事であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。